

フローラルインプラントセミナー

インプラントの症例を確実に増すために ——インプラントチームが伝えるインプラント治療の最前線——

今、歯科界は冬の時代を迎えている。しかし、インプラント治療には明るい未来が待っている。我々はもちろん欠損に対する第一選択はインプラントである。そう言えるにはテクニックの裏付けが必要なのである。様々な新しいテクニックが開発されている今、それを身につけていることは、将来の医院経営に反映されると考えられる。今回、フローラルインプラントチームが最先端テクニックをプレゼンツする。(他の講習会では聞けない新しいテクニックが学べます。)

開催日時 2009年5月24日(日) 10:00~16:00

会場 都市センターホテル 東京都千代田区平河町2-4-1 Tel:03-3265-8211

参加費 ¥15,000(定員100名 先着順)



<演者>
水口 毅之
歯学博士
日本インプラント臨床研究会 会員
国際インプラント学会 認定医
アジアインプラント学会 認定医

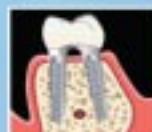
■ 槌打をしない新しいソケットリフト

垂直的な骨幅が1~2mmでも対応可能な新しい適応症で行えるソケットリフト、オステオプッシャーを使用し、槌打をしないため、患者の侵襲が少なくリフトできる。



■ 下顎臼歯部における新たな手法

下顎管までの距離がとれない症例に対してコンピューターシミュレーションを使用し、頬舌的に2本のインプラントを埋入する画期的な手法。



■ ボーンブレッドや審美症例

グラフトレスによる歯槽骨の拡大や新しいコンセプトの審美症例。



<演者>
松元 教貴
2004, 2007 PRD発表者
歯科医師会 歯科治療領域の
先進的治療
日本口腔インプラント学会 会員
顎咬合学会 認定医

■ イミディエートローディングにはコツがある

今やイミディエートローディングはエビデンスのある治療として認識されている。しかしながらそのコツを持たずに失敗を繰り返しているドクターも多い。日本のイミディエートローディングの先駆者である松元先生が数多くの症例を経て作り上げた「サムライ法」を伝えます。また、アメリカのインプラント事情に詳しい松元先生が世界のトレンドと今後の流れを教えてください。



<演者>
金子 泰雄
米国審美歯科学会 会員
医学博士

■ ただの審美治療では患者は満足しない

我々歯科医師が考える審美治療がはたして患者が満足する治療であろうか？
我々は美容を求める患者の心理を学び、臨床に生かすべきである。
横浜美容歯科の金子先生が語る美容歯科。



お申込み (株)プラトンジャパン

お問合せ先 Tel 0120-36-8950 / Fax 0120-36-8952

主催 フローラルインプラントセンター

後援 (株)プラトンジャパン / (有)メディカルトラスト

参加申込書 フローラルインプラントセミナー(2009.5.24)

フリガナ お名前	フリガナ	医院長・勤務医	
医院名			
医院住所	〒	Tel	Fax